

施政方針 平成23年度

平成23年第1回熊野町議会定例会において、町長が平成23年度の施政方針を述べました。

町政運営に対する所信と施策の概要をお知らせします。
(政策企画課)

【はじめに】

私が平成20年12月に就任をさせていただき、2年余りが経過し、平成23年度は折り返しの年であると考えております。

平成21年度には、町内14自治会ごとに地域懇談会を開催し、町民の皆さんから、多種多様なご意見をいただき、町政の運営に反映できるように取り組んでまいりました。

この2年間は、公共施設の長寿命化に努め、また、「筆の都 熊野」としての地域特性や地域資源を活かした、産業観光の推進にも重点的に力を注ぎました。熊野町がその独自性を維持しながら、住民が生き生

野」と掲げ、2つの基本目標を設けています。

まず1つ目は「こころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野」、そして、2つ目は「暮らしやすく、元気な「まち」を育む熊野」とし、今後のさまざまな施策の基本となるものです。この目指す将来像の実現のため、「地域力の強化」、「快適暮らしの創造」、「筆の都の活性化」の3つの基本的視点をもって、重点的かつ横断的に施策を推進していきます。

【重点的な取り組み】

■総務部門

今後の行政運営の方向を示す1つとして、「住民との協働による信頼と連携の地域経営を確立する」ことを進めます。

また、税や料の一部に関し、コンビニエンスストアで、納めることができるようにします。

地域内外の交流を促進す

るため、地域住民との協働により、まちづくり交流拠点「KIZIN」の運営を行います。筆の日週間には、「筆の街散策」を実施し、さらなる交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。

筆の里工房では、8月に、筆の博覧会展を、10月下旬からは、正岡子規と夏目漱石の交遊関係を紹介する展覧会を開催します。

商工観光対策として、町内企業の経営の安定と維持発展、雇用対策に努めるとともに、広島県観光連盟などと連携を深め、地域資源を活用した観光圏の広域化を推進します。

熊野筆産業の持続的な発展のため、筆職人後継者育成事業や熊野筆情報発信拠点（ASSE）の運営など、筆文化や筆産業の振興に努めます。

■民生部門

民生部門では、主に「地域力の強化」に関する事業

を実施します。

子育て支援では、小・中学生を対象とした入院医療費の助成や乳幼児医療費の助成により、子育て費用の負担軽減を図ります。

全国的に後を絶たない児童虐待について、子どもの権利を尊重した社会を実現するための施策を強化します。

健やかな妊娠と出産を支援するため、妊婦検診を継続するとともに、病原体の母子感染対策を強化します。乳児家庭の全戸訪問などにより、乳幼児の健康や発育の保持増進に努めます。

壮年期については、健康診査やがん検診などの健康増進事業を推進するほか、企業の事業主と連携して従業員の健康づくりを進めます。

感染症対策としては、従来の定期予防接種に加え、子宮頸がん予防ワクチンなどの任意接種事業を継続実施します。

します。

耐震補強が必要な熊野中学校西校舎は、実施設計を行い、耐震診断が未実施の小学校校舎などについては、二次診断を実施します。

次に、町民一人ひとりに、社会連帯意識の高い人間形成の基盤整備を目指す取り組みを進め、文化の香り高い健康で豊かな生涯学習の充実を図ります。

各公民館や図書館において、各年代層に応じたさまざまな講座を開設するとともに、読書活動の啓発や推進を図ります。

親子を対象としたファミリーコンサート、食育講座、児童虐待に関する講座の実施や人権啓発、男女共同参画社会の実現に努めます。

そのほか、文化事業として、公共ホール音楽支援事業などの実施、生涯スポーツの振興では、NPO法人熊野健康スポーツ振興会と連携し、体力づくり・健康づくりに努めます。

進めるとともに、総合防災訓練を実施します。

災害時に、一人暮らしの高齢者が被害者となる可能性が高いため、「災害時要援護者避難支援プラン」を一人暮らし高齢者の見守り活動と併せ進めます。

環境対策では、生ごみ処理機を購入した住民に、その費用の一部を支援します。

■建設部門

新総合計画では、主に「快適暮らしの創造」を担う部門です。

道路の整備では、県道矢野安浦線・瀬野呉線の整備を広島県および関係機関に、早期の完成を強く要望し、全面的に協力します。

日常生活に不可欠な生活道路では、「深原公園線」、「出来庭川角中央線」の新設事業、「団地2号線」の舗装修繕工事を進め、町道の適正な維持管理を計画的に行い、生活の利便性・安全性の向上に努めます。

高齢者施策では、介護保険事業の円滑な運営に努めるほか、地域健康センターを拠点に、高齢者の生きがいづくりや介護予防の取り組みを推進します。

また、小規模多機能型居宅介護事業所の整備を促進し、地域密着型サービスの充実を図ります。

障害者福祉では、新たに障害者相談窓口を設置し、相談支援体制の強化に努めます。

福祉事務所では、生活保護や母子家庭の自立支援などについて、関係機関との連携を図り、支援体制の充実に努めます。

防犯対策では、環境にやさしいLED防犯灯の普及に努め、約1千100灯を整備します。

近年、集中豪雨や大規模な地震が多発しています。川の浚渫、砂防堰堤の建設などを計画的に推進します。また、有事に備え、各地区に自主防災組織の結成を

■教育部門

「地域力の強化」を重点的に行う部門です。

教育の充実は、将来の「まちづくり」を計画的に進める上で、最も力を入れなければならぬ分野です。熊野町の将来を担う子どもたちのために重点的に取り組みます。

学力向上対策として、全国学力・学習状況調査や広島県の基礎基本学力状況調査に加え、全学年で町独自の学力検査を実施します。

また、学習問題データベースを導入し、児童・生徒の基礎学力の向上につなげます。

さらに、部活動の指導に実績がある保健体育教諭を臨時職員として雇用します。

平成22年度に引き続き、小学校1・2年生に書道科を運営します。

施設整備については、第一小学校西校舎に緊急総合経済対策の補正予算を活用して、耐震改修工事を実施